



# 文理科学科通信

京都府立福知山高等学校

## みらい学口 課題研究・研究交流 大学教員による直接指導が実現



2年生対象のみらい学口は、昨年度のみらい学研究発表会の成功など、大きな成果を収めました。今年度は、京都高大連携研究協議会実践研究共同教育プログラムとして、本校の「みらい学口」を御指定いただきました。

今回、3名の大学の先生方に、事務局である財団法人大学コンソーシアム京都の計らいにより、生徒一人一人の研究について直接御指導い

だくことができました。

9月9日、16日の2日間に  
わたり、

京都大学名誉教授

京都学園大学教授

立命館大学准教授

大谷大学 講師

大阪大学 講師

本林 靖久 氏

小沢 道紀 氏

谷 吉樹 氏



に、本校にお越しいただきました。今回のプログラム実施に先立って、一人一人が7月上旬に研究の進捗状況をまとめて、御担当いただく大学の先生に報告しました。7月中旬には、大学の先生方より、各生徒にコメントや、参考となる資料を添えていただき、そのアドバイスをもとに、夏休みの研究活動を進めました。



8月下旬には、夏休みの研究成果をもとに、作成途中のレポートを大学の先生にお送りしました。事前指導から今回の直接指導の機会を通して、研究のねらいや成果を整理し、レポートのより一層の充実を図りました。

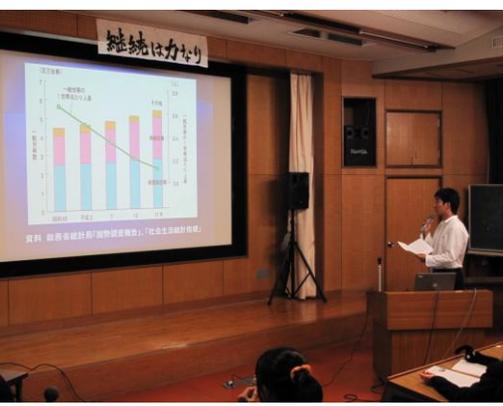
御担当いただいた大学の先生方の御専門はもとより、それ以外の研究テーマに関しても、研究者として長年研究活動に携わってこられた豊富な御経験を通して、「研究とは」、「レポートとは」、「発表とは」といった普遍的な内容についても御指導いただくことができました。

3名の先生方の御指導は、研究分野や学問領域の特性に合わせて、全体や小グループ、個別などその方法やアド

バイスされる着眼点も様々で、学問研究とその研究領域の幅広さを感じる機会ともなりました。

2日間ともに、最後に全体会を持ち、今回の活動成果をまとめました。大学の先生方からは、自分の興味や関心に基づき自分の力で調べることの重要性や、他者に調べた内容を興味を持たせる方法で伝える力が、今の日本の研究者に求められていること、そして、自分の研究テーマの設定理由やわかったことについて、数分でわかりやすく語れる力を身につけることなどのアドバイスをいただきました。また、レポートが充実している生徒も多く、今後に期待できるとの激励を受けました。

研究成果の発表は、10月上旬より1カ月間わたり、研究会を実施しています。一人10分間の発表時間を有効活用し、半年間の研究成果の交流をすすめています。



～豊かな感性きらめく～

## みらい学研究発表会

日時：11月15日(日) 9:30開会  
会場：マリアージュ玉姫殿(福知山市駅南町)

府民の皆様、多数のお越しをお待ちしています。

また、校内での選考を経て、代表生徒が、11月15日開催の「みらい学研究発表会」(会場 マリアージュ玉姫殿)で研究発表を行います。保護者の方や、中学生をはじめ府民の皆様、多数のお越しをお待ちしています。

京都府立福知山高等学校  
〒620-0857 福知山市土師 650、tel.0773-27-2151  
電子メール：fukuchiyama-hs@kyoto-be.ne.jp  
ホームページ：http://www.kyoto-be.ne.jp/fukuchiyama-hs/

